

(イーレコ)

e-Recognition シリーズのご紹介

請求書、注文書、領収書の超高速処理！

3つのNO.1活用術

Prexifort-OCR DX Suite WinActor

KSI 株式会社KSインターナショナル

『e-Recognition シリーズ(イーレコシリーズ)』とは？

『e-Recognition シリーズ(イーレコシリーズ)』とは？

『e-Recognition シリーズ』には、伝票処理自動化に不可欠な「高性能OCRソフトウェア」と「RPA」、そのスムーズな連携とパフォーマンス向上を実現する当社オリジナルアプリケーション『DART(ダート)』がパッケージされています。

3つの業界国内シェアNo.1のソフトウェア「Prexifort-OCR」「DX Suite(AI-OCR)」「WinActor(RPA)」を当社オリジナルアプリケーション『DART(ダート)』が連携させ、OCR単体では難しかった「文字認識の正確さ」「速さ」「時短によるコスト削減」を実現し、「伝票処理の自動化をバックアップ」するパッケージプランです。

■ラインナップ

- e-Recognition for 請求書
- e-Recognition for 注文書
- e-Recognition for 領収書



e-Recognition シリーズが解決

そんな「伝票処理の課題」を解決するのに有効なのが「従来型のOCR」「AI-OCR」「RPA」を活用した『e-Recognition シリーズ』なのです。

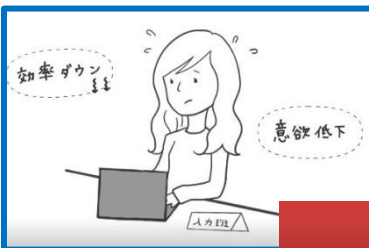


入力の手間

紙の伝票をひたすら手入力する。書式も記載内容も異なり、思った以上に時間がかかる。

業務の集中

締日に集中し、残業で対応。他の業務に取り掛かれず、対応が遅れる。



単純作業による疲弊

社内フォーマットに入力されたデータを基幹システムにコピー＆ペースト。長時間の単純作業に効率も落ちる。

e-Recognition シリーズ が解決

ミス対応

担当者のスキルに左右されるため、二重・三重のチェックなどミス対応の負荷も大きい。



OCRとは、「**O**ptical **C**haracter **R**ecognition/**R**eader(光学的文字認識)」の略称です。

紙に手書きや印刷された文字を、スキャナやデジタルカメラなどで読み取り、コンピュータの文字コードにデジタル変換する技術です。

これに、AI(人工知能)による学習機能を備えたものが、「AI-OCR」です。

AI-OCRは、従来型のOCRでは正しく認識できなかった「ゆがんだ文字の読み取り」にも対応。紙からデータ化する手間を大幅に削減します。

■AI-OCRのメリット

- ➡ 手入力の時間と担当者の負荷を削減
時短・残業コスト削減・ストレス軽減
- ➡ 大量の伝票も機械に任せて、他の業務に取り掛かれる
業務遅延解消・効率化
- ➡ 紙伝票のデジタル化で保管スペースが減る
省スペース・コスト削減
- ➡ デジタル化で検索が可能になり、紙伝票を探す手間が減る
時短・ストレス軽減

このように、多くのメリットを持つAI-OCRですが・・・そんなAI-OCRも万能ではありません！

■AI-OCRの課題

- ✓ 文字認識の精度
使用するソフトウェアの性能により「文字認識の正読率」が異なるため、その後の「データ修正の手間と時間」が大幅に変わってくる。
- ✓ データの活用
処理は「文字データをデジタル変換する」ところまで。その後の基幹システムへのデータの登録や加工はできない。

つまり、AI-OCRでデジタル化したデータを最大限活用するには、重要なポイントがあるのです。

■AI-OCR活用の重要ポイント

AI-OCRを活かし、「伝票処理の自動化」「オフィスの働き方改革」を実現するには、

1. 最適な「OCRソフトウェア」の選択
2. データ活用を可能にする「RPA」との連携
3. データ処理のパフォーマンスを向上させる「ユーザーごとのカスタマイズに対応するツール」

が必要不可欠なのです。

ソフトウェア型帳票 OCR「Prexifort-OCR」と、独自開発の”文字認識AI”を搭載した AI-OCR サービス「DX Suite」の強みと弱みを認識し、良いところり。

	強み	弱み
 帳票OCRソフト Prexifort-OCR Precise · Flexible · Comfortable	• 速さ • 低コスト • 印刷文字の認識精度が高い • フォーム判断の性能が高い	• 手書きのクセ文字などのゆがみ文字に非対応
 DX Suite Leading the Digital.	• 文字認識精度が高い • 手書きのクセ文字などのゆがみ文字に対応	• 従量課金制のため処理量に応じてコストUP • クラウド型のためアップロード時間が必要

RPAで伝票処理の自動化を実現

RPAとは、「Robotic Process Automation」の略称で、伝票処理の業務効率化・自動化を実現する、もうひとつの頼れるソフトウェアです。

■RPAで自動化できること

- ✓ デジタル化した文字データから「必要な情報のみを抽出」
- ✓ マスターなどに照らし合わせて「内容のチェック」
- ✓ 基幹システムへの「登録」

このように、AI-OCR処理後の作業をRPAで自動化することで「登録作業の負荷と人的ミスを削減」「担当者のスキルによらぬ手順の共通化」ができます。

➡ リスク削減・ストレス削減・コスト削減

つまり、伝票処理の自動化には、「高性能なOCR処理」と「RPA」、そして、その「スムーズな連携を可能にするツール」

『DART(ダート)』が必要不可欠なのです。



e-Recognition シリーズは、当社オリジナルアプリケーション『DART(ダート)』が、3つの業界国内シェアNo.1ソフトウェアのスムーズな連携を実現！

1. 「業界国内シェアNo.1」 *₁

信頼と実績のある3つのソフトウェアが連携。

1. 「Prexifort-OCR」
2. 「DX Suite (AI-OCR)」
3. 「WinActor (RPA)」

2. 2つのOCRシステム

速さと低コストの「ソフト型OCR」と手書きやクセ字などのゆがみ文字も認識する「AI-OCR」。
2つのソフトウェアそれぞれの優位性を活用できる。

3. RPA がデータ処理を自動化。

時短・作業負荷の軽減、作業手順の標準化、単純ミスの削減。

当社オリジナルアプリケーション『DART(ダート)』は、

- 3つの業界国内シェアNo.1ソフトウェアのスムーズな連携を実現！
- ユーザーのカスタマイズに対応し、パフォーマンスを向上させる！

* 2021年7月現在

* Prexifort-OCRはNTTデータ社、WinActorはNTTアドバンステクノロジー社、DX SuiteはAI-inside社の登録商標です。

* DARTは自社開発製品です。

『DART』は、「Prexifort-OCR」「DX Suite」の得意分野を組み合わせ実行させ、認識精度、コストパフォーマンスの両面の向上をはかる機能の集合体。ユーザーごとのカスタマイズにも対応します。

1. イメージカット機能

PDFから該当文字イメージを切り出し、アップロードする。

2. マージ機能

2つのOCR結果を最適に統合する。

3. 結果置換機能

置換データにより、誤認識したデータを自動置換する。

4. 認識結果訂正機能

データの最終確認に必要な独自の修正確認画面を完備。

5. 置き換えデータの登録／修正機能

認識結果の訂正データを蓄積・学習させることで、置き換え機能の精度を向上させる。

6. ユーザーの実務に適応するカスタマイズ機能

『DART』が持つ各機能を、ユーザーの実務に合わせカスタマイズできる。

1. 認識率の向上

「Prexifort-OCR」で認識できない部分を、「DX Suite」でOCR処理、結果をマージすることで「文字認識精度が向上」する。

『DART』の学習機能で過去に誤認識したデータを置き換える。

2. 操作性アップ

『DART』がイメージ切り出しから認識結果マージまで、バックグラウンドで行うため、知識のない方でも簡単に操作できる。

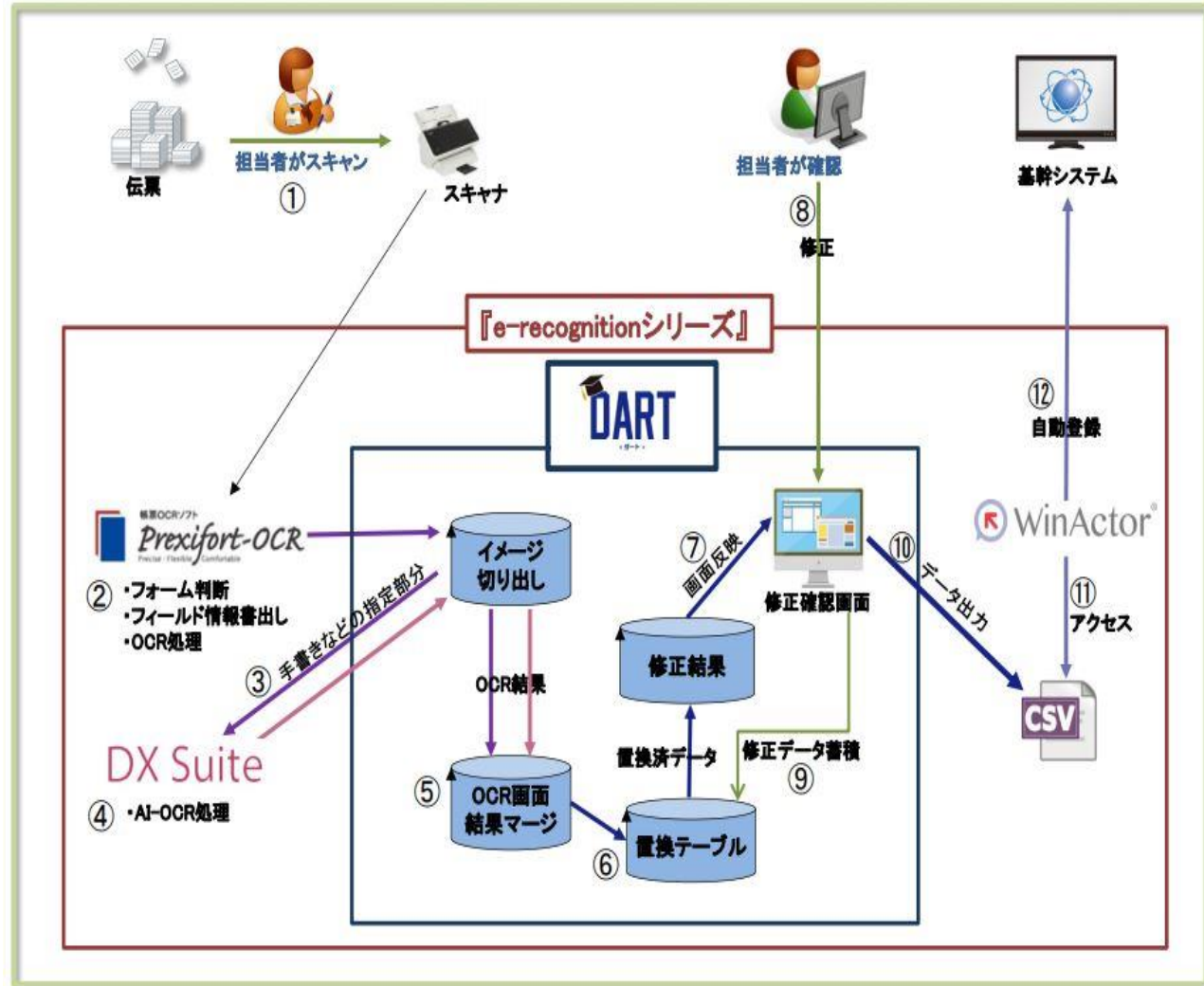
『DART』の確認修正画面で、認識データの修正が簡単にできる。

3. コスト削減と時短

『DART』が「DX Suite」(従量課金・クラウド処理)の使用量を最適化することで「コスト削減」と「アップロード時間の短縮」になる。

e-Recognition シリーズの処理イメージ

【モデルケース フローイメージ図】



1. 伝票をスキャン
2. 「Prexifort-OCR」が従来型の強みを活かし、「早く」「低コスト」でOCR処理
→フォーム判断、フィールド位置情報書き出し、文字読取
3. 『DART』が手書きなどの指定部分だけを切り出し、「DX Suite」にアップロード
4. 「DX Suite」がAIを活用し、OCR処理
→指定部分を読取、文字データ化
5. 『DART』が「Prexifort-OCR」処理データと「DX Suite」処理データをマージ
6. 『DART』が指定データを置換
7. 『DART』が結果データを独自の 修正確認画面に反映
8. 修正確認画面で、データ確認・修正が可能 ※担当者手作業
9. 『DART』の置換データに修正データを蓄積
10. 『DART』が修正済みデータをCSVファイルに出力
11. 「WinActor」がCSVファイルにアクセス
12. 「WinActor」が該当データの基幹システムへの登録、確認依頼メール配信など業務プロセスに自動対応

★e-Recognition for 請求書

【概要・特徴】

請求書文字のデータ化や入力作業の自動化は、紙、PDF、FAXなど印字された帳票を汎用OCRやAI-OCRでデータ化し、請求書に記載されている取引先情報・請求金額・請求日などの情報を抽出します。

その後、DART(簡易機械学習機能)を利用しデータを補正、データ精度を向上させます。

基幹システムへの入力作業を手作業に変わりソフトウェアロボット(RPA)が実行し業務プロセスを自動化します。

【導入効果】

- ・締日に集中する業務処理の自動化で、月末月初の残業を削減。
- ・大量のデータ手入力によるミスと修正作業、チェック業務の負荷を軽減。

取引先情報・請求金額・請求日などのデータ化 と DART(簡易機械学習機能)によるデータ補正により、データ精度を向上。紙帳票、PDF帳票、FAX帳票を取り扱うことが多い経理部門での業務効率化や作業ミスを軽減し、コスト削減を推進します。

【導入事例】

大手スーパー請求書処理

商品・サービス	販売価格（税込）
e-Recognition for 請求書（Prexifort-OCR + DART付き）	2,035,000円
WinActor (RPA) シナリオサポート	165,000円
モデル構築 / 設計	275,000円

★e-Recognition for 注文書

【概要・特徴】

注文書文字のデータ化や入力作業の自動化は、紙、PDF、FAX など印字された帳票を汎用OCRやAI-OCRでデータ化し、請求書に記載されている取引先情報・請求金額・請求日などの情報を抽出します。

その後、DART(簡易機械学習機能)を利用しデータを補正、データ精度を向上させます。

基幹システムへの入力作業を手作業に変わりソフトウェアロボット(RPA)が実行し業務プロセスを自動化します。

【導入効果】

- ・至急発注の入力処理も自動化で負荷軽減。
- ・日々の対応数の見込みが立ちにくい発注書処理も、自動化で他業務への影響軽減。
スケジュール管理・業務負荷管理が可能に。

取引先情報・金額・注文日などのデータ化 と DART(簡易機械学習機能)によるデータ補正により、データ精度を向上。
紙帳票、PDF帳票、FAX帳票を取り扱うことが多い購買部門での業務効率化や作業ミスを軽減、コスト削減を推進します。

【導入事例】

大手スーパー注文書処理

商品・サービス	販売価格（税込）
e-Recognition for 注文書（Prexifort-OCR + DART付き）	2,035,000円
WinActor (RPA) シナリオサポート	165,000円
モデル構築 / 設計	275,000円

★e-Recognition for 領収書

【概要・特徴】

領収書やレシートなど、印字された帳票を汎用OCRやAI-OCRでデータ化し、記載されている支払先情報・金額・支払日などの情報を全文認識し抽出。

その後、DART(簡易機械学習機能)を利用しデータを補正、データ精度を向上させます。

基幹システムへの入力作業を手作業に変わりソフトウェアロボット(RPA)が実行し業務プロセスを自動化します。

【導入効果】

- ・経理業務の中で一番煩雑な領収書処理。レシートや領収書をひとつひとつ入力する多くの時間と労力を自動化で削減。
- ・計算間違いや入力ミスのチェックや修正の負荷、二重記帳のリスクを自動化で軽減。
- ・書式も形もバラバラな領収書から原紙を探す手間を削減。
(CSVデータとスキャン画像を紐づけて保存できます)

支払先情報・金額・支払日などのデータ化 と DART(簡易機械学習機能)によるデータ補正により、データ精度を向上。迅速な処理が求められる経理部門での業務効率化や作業ミスを軽減、コスト削減を推進します。

また、領収書やレシートのイメージデータをファイリングする事で、大量の原紙から探す手間が省け、担当者のストレス軽減にも役立ちます。

商品・サービス	販売価格（税込）
e-Recognition for 領収書（Prexifort-OCR + DART付き）	2,035,000円
WinActor (RPA) シナリオサポート	165,000円
モデル構築 / 設計	275,000円

■製品仕様

1. 日次 : 50件
2. 月間 : 1,000件以内
3. フォーム数 : 20フォーム（※フォーム＝紙伝票の形式・型）
4. フィールド数 : 1フォームにつき、20フィールド（※フィールド数＝イメージ切り出し 設定数）

■前提条件

1. 販売プランの e-Recognitionパッケージは、Prexifort-OCR＋DARTの製品付き。
DX Suite、WinActor、FAX-OCRソフトは別途準備をお願いいたします。また、製品により保守サービス料金が発生します。
2. スキャナーについては、DXマーケットプレイス内 Kodak Alaris社製スキャナーを推奨しています。
3. 商品の提供は、サンプルシナリオとWebサポートと致しますが、現地訪問が生じた場合、移動費用等、別途ご相談の上、ご請求申し上げます。

■紹介動画・公式サイト

- ・YouTube: <https://youtu.be/A1sGXsf3DJ0>
- ・公式サイト: https://ksin.jp/?page_id=99

*** 各商品のお申込みは「NTTデータ DXマーケットプレイス (<https://nttdata-mp.com/>)」を ご利用ください。**

* Prexifort-OCRはNTTデータ社、WinActorはNTTアドバンステクノロジー社、DX SuiteはAI-inside社の登録商標です。 * DARTは自社開発製品です。

■関連商品

- ・ e-Recognition for StorageBox : e-Recognitionシリーズの「電子帳票とデータの保管管理機能」
- ・ Cloud e-Recognition for BPO : e-Recognitionシリーズの機能を活用したBPOセンターへの丸投げプラン



(製品・サービスに関するお問い合わせ受付窓口)

株式会社K S インターナショナル

TEL : 03-6666-4106

Mail : info@ksin.jp

受付時間／月曜～金曜 9:30～16:30 (祝祭日、年末年始を除く)

〒135-0011 東京都江東区扇橋2-1-7 クレープメトルハウス3F



<https://ksin.jp/>